

No.1 0 候補問題の操作手順と時間想定			
	想定時間合計	23分	
試験前の操作	1 0 分	支給材料の確認	
		器具の配置	
試験時間	4 0 分	操作手順	操作想定時間(分)
部品とケーブルの取付け	ブレーカー	VVF2.0-2C (300mm) の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする	2
		反対側の外装を100mm、被覆を20mmストリップする	
		心線10mmの方の白線をブレーカーのN側に、黒線をL側に差し、ネジを締める	
	連用枠	連用取付枠にパイロットランプ、スイッチ(イ)、コンセントを取付ける	2
	コンセント、パイロットランプ、スイッチ	VVF1.6-3C (450mm) を長さ100mmで切り離す(渡り線)	5
		残ったVVF1.6-3C (350mm) の外装を100mm、被覆を約10mmストリップする	
		黒線を一番下のコンセントの左側、白線を右側(W側)、赤線をパイロットランプの左側の上に差し込む	
		切り離したVVFケーブル(100mm) の中央で外装をストリップし、3本の電線を取り出す	
		取り出した黒線の両端の被覆を10mmストリップし、コンセントとスイッチ(イ)のそれぞれ左側に差し込む	
		白線の両端の被覆を10mmストリップし、コンセントとパイロットランプのそれぞれ右側に差し込む	
		赤線の両端の被覆を10mmストリップし、スイッチ(イ)の右側(白線側)とパイロットランプの左側(赤線側)の下に差し込む	
	引掛けシーリング	VVF1.6-2C(650mm)の外装を引掛けシーリングのストリップゲージに合わせてストリップする	2
		同じくストリップゲージに合わせて被覆をストリップする	
		ストリップ長さと接地側を確認して、ケーブルを差し込む	
		裏から除いて心線が見えていないことを確認する	
		引掛けシーリングの中央でケーブルを直角に折り曲げ、その中央を連用枠に合わせ同じ長さ(250mm)でケーブルを切断する	
	ランプレ	残ったケーブル(350mm)の外装を45mm、被覆を20mmストリップする	5
		被覆の端から2-3mmの心線をストリッパーの先端で挟み下向きに直角に曲げる	
		工具を裏返し、片方の心線の端をつまんで手前に曲げ、の字をつくる	
		同様に、もう1本の方ものの字にする	
		白線がW側(ソケット側)にくるようにして、の字の部分がランプレセブタクルのネジに重なるように調整する	
		ドライバーでランプレセブタクルのねじをはずす	
		ケーブルをランプレセブタクルの穴から下へ通す	
		外したネジをの字にはめて、指で押さえながらドライバーで押さえつつ回してネジを半分程度締める	
		反対側についても同じようにしてネジを締める	
		ネジが被覆を噛み込んでいないことを確認してネジをしめる	
		ランプレセブタクルの中心から引掛けシーリングのケーブルと同じ長さ(250mm)に切断する	
結線部分のケーブルの処理		連用枠を取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
		引掛けシーリングを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
		ランプレセブタクルを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる	1
ケーブルの結線	リングスリーブ	白線4本(ブレーカー、引掛けシーリング、ランプレセブタクル、連用枠の白線)をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ中をは	3
		圧着工具の中の位置を確認し、スリーブを圧着後、中マークを確認する	
		ブレーカーの黒線と連用枠からの黒線をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ小にはめる	
		圧着工具の小の位置を確認し、スリーブを圧着後、小マークを確認する	
		スリーブ(合計2個)の上端からはみ出ている心線をベンチで切断する	
	差込コネクタ	残ったケーブル3本(連用枠からの赤線、引掛けシーリングとランプレセブタクルの黒線)を立ち上げ、の心線をベンチ幅(12	1
		3本の電線を3本用の差込コネクタに挿入する	